

福井県の学力・体力が トップクラスの秘密

～福井県の家庭と地域は子供とつながる・子供でつながる～

前馬優策（大阪大学）

2015/09/28（月）

自己紹介

- ・大阪府茨木市とその周りで生活
- ・研究のテーマ：学力格差問題、「効果のある学校」研究
- ・2007年、全国学力・学習状況調査の実施。現場に与えたインパクトについての実態調査に参加。
 - 福井県への関心

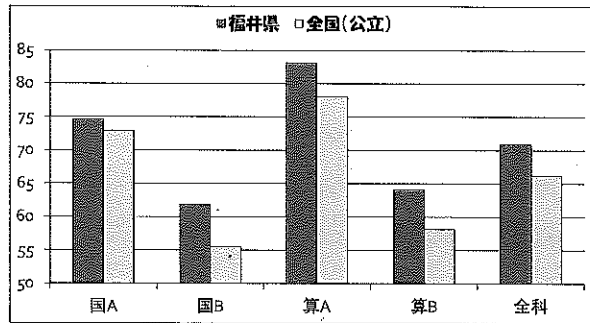
福井県

- ・人口：およそ80万人
- ・賃貸住宅空室率 1位
- ・コロッケ消費量 1位
- ・寺院数 2位
- ・労働時間 1位
- ・幸福度指数 1位

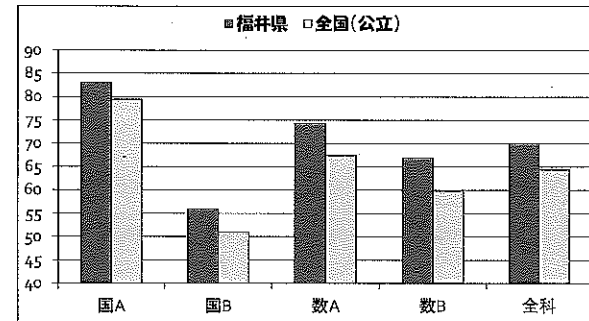
なぜ福井県???

- ・全国学力・学習状況調査の結果
 - 常に上位。
 - ただ平均が高いだけではない。
- ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査（全国体力テスト）の数値が高い。（2014年は小5・中2男女とも1位！）

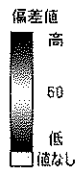
小学校の学力実態 (2014)



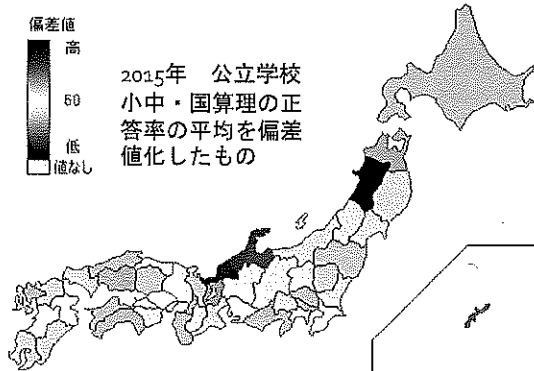
中学校の学力実態 (2014)



全国学力学習状況調査の結果

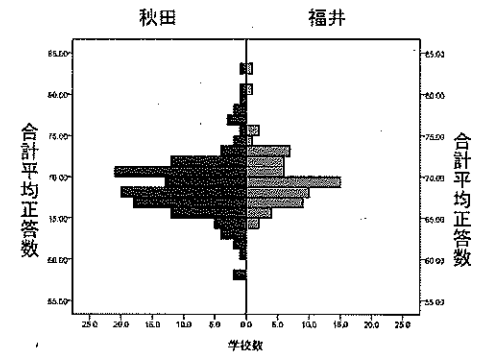


2015年 公立学校
 小中・国算理の正
 答率の平均を偏差
 値化したもの



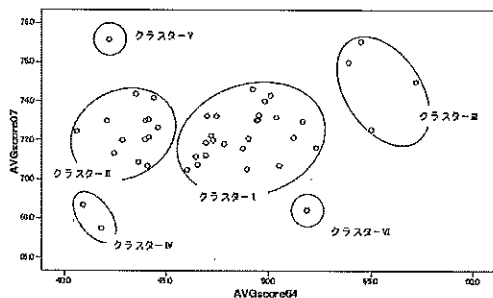
<http://todo-ran.com/t/kiji/12090>より

福井県のすごさ (中学校・2009)

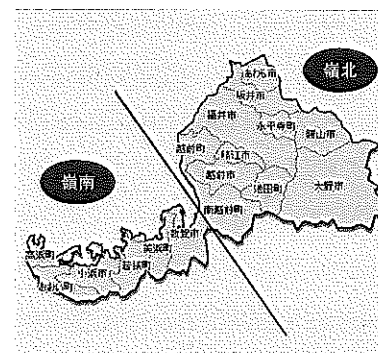


田中博之、2011、文部科学省委託調査研究報告書より

過去との比較では・・・



二つの福井



調査の概要 (2013年)

- ・「福井県の学校教育にはどのような特徴があるのか？」
- ・子どもの学力・体カテストで好成績。その「教育力」の高さに注目。
- ・小学校・中学校での子ども・教師の様子や、保護者の教育観、教育委員会や大学の取り組み等、様々な角度から福井県の教育の現状と教育力の高さの要因を探ることを目的とする。



小学校の秘密



中学校の秘密

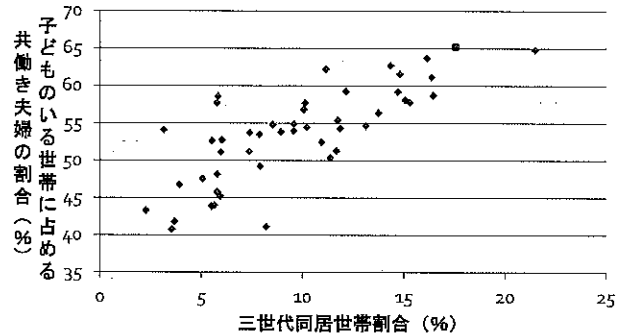


教師の秘密



地域・家庭の秘密

福井の地域性



三世代の効能

- ・生活・家計の安定
 - ・「子どもを見る目」の多さ
 - ・「節度」（大人社会のルール）への接触
 - ・異世代交流がもたらす緊張と緩和
- ▶▶安定した子育て環境を生み出す

地域に参加する子どもたち

●今住んでいる地域の行事に参加していますか
(2015年)

- ・小学校 全国66.9%：福井82.9% (全国3位)
- ・中学校 全国44.8%：福井57.8% (全国8位)

▶「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか」「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」については、全国平均と同程度。

地域の人と子どもたち

- ・「地域みんなで子どもを見てくれている感じ」
 - ▶登下校の見守り、行事の「観客」・サポート
 - ▶「子ども」が地域の人々の関心事
- ・子どもに関わることで、元気になる人々
 - ▶メリットの双方向性

浮き彫りになった地域の役割

- 支える
様々な活動のサポート
- 知らせる
学校と地域の「橋渡し役」
- 呼び込む
(←ここには至っていない?)

「先生は頑張ってくれている」

- ・先生の頑張りが見える
 - ノートに対するコメント
 - 大量の宿題を丁寧にチェックした跡
 - 学校行事などでの姿
- ⇒強固な信頼関係



学校の「立ち位置」

- ・「地域」の役割の一つとしての学校
- ・「子ども」を通じて対等な関係
 - ▶家庭、地域、学校
- ・適度な緊張感
 - ▶モノが言い合える関係

学校教育を支える社会関係資本

- ・信頼
 - 学校・教師に対する信頼
 - ・規範（特に、互酬性の規範）
 - 「学業」に対する態度、「お互いさま」の精神
 - ・ネットワーク
 - 子どもを中心としたつながり
- ◆ これらが十分に蓄積されているのが福井県の特徴

福井の小学校 学校内での活動について

- ・授業づくり
 - ・「オーソドックス」な授業（導入で「学習のめあて」が提示され、子どもが問題を解き、それから何が学べるのか、話し合ってみていく）
- ・体力づくり
 - ・体育の授業内容の密度が濃い。運動量が豊富。
 - ・業間にも、「業間マラソン」など、日常的に体力づくりに資する取り組みが行われている。

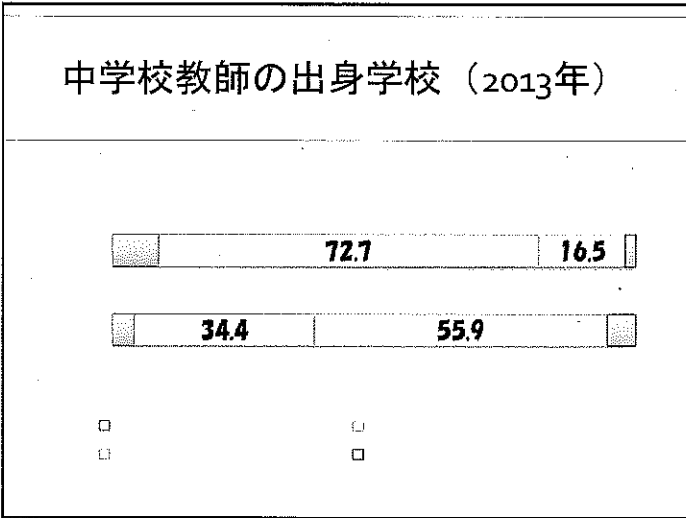
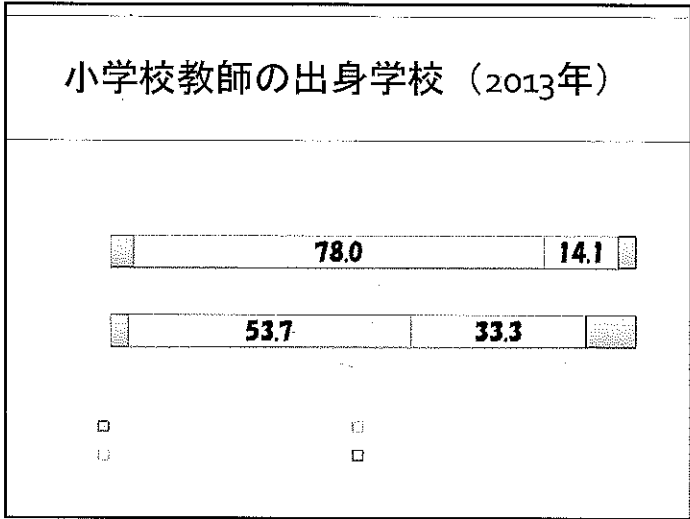
中学生の1日

7時半～	学校登校
8時～8時25分	朝学習
	授業
夏18時半	部活動
冬17時半まで	
帰宅後	宿題、習い事、塾など

- ・生徒の約9割は部活動に参加（残りは、地域のスポーツクラブで活動）
- ・多くの生徒は1日の大半を学校で過ごす
- ・学校の過ごし方が、学力・体力の高さに結びついているのではないかと

「あたりまえ」を支えるもの

- ◆ きめ細かい・丁寧な指導が生み出す信頼関係
- ◆ 学校全体で取り組める力
- ◆ 現状に満足しない、上を目指した指導



福井の教師 —全体の特徵：統計データから

◎教師の学歴

- ・教員養成系大学出身者が多い
- ・複数免許取得率（隣接学校種、特別支援教育）が高い → 小中一括採用（今はなくなった）

◎年齢構成—ミドルリーダー人材の厚さ

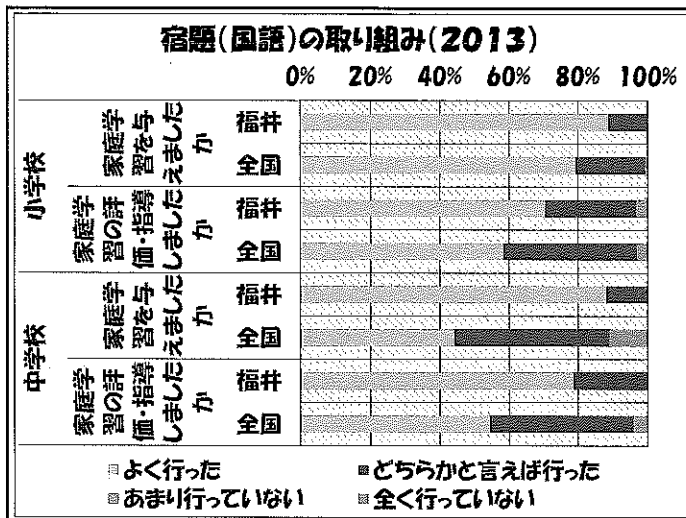
- ・40代の年齢層が厚い

◎教職員組合加入率—教師集団としてのまとまり

- ・加入率：約86%（全国45.2%、全国4位）
- ・新採用教師では約94%（全国26.5%、全国5位）

- ① 「きちっと教える」授業
- ② 熱心な研修
- ③ 丁寧な宿題・生活ノートのチェック
- ④ 組織の一員としての動き
- ⑤ 「手を抜かない」行政施策に対する姿勢

まじめさとは？



福井の教育のキーワード

●群れる力

●鍛える文化

福井の課題

- ① 「個性」の問題
- ② 不登校率の高さ
- ③ 教師の「まじめさ」
- ④ 地域の持続性

地域の持続性にかかわって

- ・社会の「余裕」の喪失
- ・現有メンバーの入れ替わりがうまくいかない状況
- ・産業構造の変化による、人の移動